

【 平成17年第1回 3月定例会-03月09日 - 02号 】宮田

まず最初に旧高梁市におけるケーブルテレビの未設置地区の敷設の件でございますが、この事業は旧高梁市におきまして、テレトピア構想という事業の中で採択されたわけでございます。平成13年度から平成16年度の期間において約16億円でこの事業をするということでございまして、なお区域は旧有漢町、旧賀陽町、そういう地域にまたがる事業でございます。ですが、平成16年度国庫補助が全くゼロという状況で、現在未設置地区が、世帯数にして約10%、1割が残っております。金額にして約4億円残っておるという状況でございます。この未設置地区をどうするかという質問でございますが、私どもは平成17年度、平成18年度、2カ年かけてこの地区を整備しようということで平成17年度の当初予算にも計上させていただいておりますので、その件につきましては御審議いただきたいと思っておりますし、内容につきましては平成17年度が約2億1,000万円、平成18年度が1億9,000万円、こういう分け方で2カ年で約4億円の未設置地区の事業を完了させていただきたいと考えておるところでございます。

次に、旧川上町、旧備中町地区のケーブルテレビの未設置についてでございますが、この2カ所につきましては私どもまちづくりの計画に上がっております。早急に市民の一体性を持つためにも情報の共有という面からも設置をすべきだと考えておるところでございます。でき得れば、年度は平成18年、平成19年、平成20年、3カ年に分けてしたい。総事業費が、これは机上でございますけれども約15億円推定されます。あくまで机上でございますので、実際に現地で測量しながら積算したという数字ではありません。約15億円が見込まれるだろうということでございます。

この設置につきましては、2つ解決しなきゃいけません。1つは、電波管理機構による、こういう放送をしてもよろしいよという許可がないと放送できません。これは総務省の管轄であります。この認可をいただくことが先決でございます。2番目は、財源の問題でございます。その15億円の財源をどうするかということが考えられます。当然、国庫補助金や、また起債運用等を考えておかねばいけません。またその主体性をどうするか、第三セクター方式でやるのか、あるいは自治体で責任を持って運営するのか、そういうこともこの財源の中で当然考えていくべきことでございます。今言いました電波を流すという、放送を利用するという電波法の件と財源の問題、この2つが解決できれば旧備中町、旧川上町の施設はできると考えておりますが、これが予定どおりそういうふうに行われるかどうかというのは、これは国との交渉に今後かかってきますので、一人高梁市で決めて走っていくというわけにはいきません。国との協議が必要でございます。それを平成17年度にこれが協議完了できれば、2つとも見込みができれば平成18年度から着工ということですが、これは最短距離の話だろうと思っておりますが、早急に設置することに努力していきたいと思っております。

【 平成17年第1回 3月定例会-03月10日 - 03号 】

市長（秋岡毅君） ただいまの川上議員さんの質問にお答えさせていただきます。

介護保険につきましては担当部長の方からお答えしますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

私の方からケーブルテレビでございますが、ケーブルテレビにつきましては、旧高梁地内においては、戸数約 8,300 戸ぐらゐ予定しておられる戸数の約 1 割、10%が現在残つてゐるわけございまして、この地域においては先日も申し上げましたように、平成 17 年、平成 18 年の 2 力年で完了したいということで、平成 17 年につきましては当初予算に計上させていたでゐております。約 1 億 9,000 万円費用をかけてやらせていたでゐたいと考えておりますので、旧高梁市内におきましてのケーブルの設置につきましては、平成 17 年、平成 18 年の 2 力年で完了するといふ予定で取り組んでおります。

また、旧備中町、旧川上町の未設置地区でございますが、これにつきましても早急にすることで、私どももその方向で進んでおります。この 2 力所につきましては、昨日もお答えしましたが、電波、いわゆる放送をするといふ内容の許可をいただくことが 1 件、もう一件は財源が伴う工事をするといふこの 2 件ですが、この 2 件をクリアしなきゃできないわけございまして、この 2 つ、特に前段のを早急に、私どもも 4 月以降取り組ませていたでゐたい。これは総務省とも相談しなきゃいけませんし、といふことございまして、総務省あるいはまた、ひょつとしたら農水省とも相談しなきゃいかん、そういう状況になろうかと思ひますし、またその後どういふ事業でやっていくかといふことになりまして、予算づけの作業に入ってくるわけございまして、総額、机上で 15 億円と言われておるこの敷設工事については、私どもも早急にと思ひますが、平成 17 年に工事をするといふことは、不可能でございますので、平成 18 年以降早急に私ども取り組ませていたでゐたいと考えております。また地区におきましても御賛同をいただきますように、当然要望はあると思ひますけれども、当然加入者がいなくやもう困るわけですから、地域においても御賛同をいたでゐたいと思ひますし、また共聴組合等をつくっておられる組合につきましても、組合としてもやはり御賛同をいたでゐたい。協力いただけなければ、それと別ですよといふんじや私ども困るわけございまして、共聴組合また組合員の皆さん方もこの敷設につきましても御協力を賜りたい。そういうことでこの工事ができるもんだと思ひておひまして、早急に私ども取り組ませていただく所存でございます。

【 平成17年第1回 3月定例会-03月11日 - 04号 】

ケーブルテレビについてでございますが、高梁地区に未設置地区が、予定されてゐる戸数の約 1 割、870 軒ぐらゐが現在残つておるわけございまして、本来なら平成 13 年度から平成 16 年度にかけてこの整備が終わるといふ計画で来られましたが、残念ながら平成 16 年度は国の補助金がつかないんで中断されたといふことございまして、未整備地区については早急に設置すべきだと私ども考えております。

平成 16 年度のできなかつた説明を広報紙でというよりも、平成 17 年度、平成 18 年度にかけてどうするかということを広報紙でもってお知らせすべきだろうと考えます。

2 力年で 870 戸を整備しようということで今予定いたしておりますし、新年度予算にも平成 17 年度 1 億 9,000 万円ぐらい計上させていただいておりますし、そういうことで平成 17 年度は実行させていただこう、平成 18 年度も実行させていただこうということで、国に対しての補助はお願いしてまいっておるところでございます、100%というわけにはいきませんが、これはできるもんだと私なりに確信して、実行したいと思っておるところでございます。

それから、旧備中町、川上町の敷設は、これは高梁の未整備地区とは連動いたしませんで、これはこれでまた考えていきたいと思っております、平成 17 年度からこれをどうするかということに取り組もうと思っております。できれば平成 18 年度着工ぐらいと思うんですけども、これはこれからの協議の内容によりますんで、着工時点ははっきり明記はできませんけれども、平成 17 年度から市としては取り組むということは私ども考えております。しかし、旧備中、川上の敷設に関しては、平成 17 年度予算には計上いたしておりません。いずれかの時期にまた予算計上はできるもんだと期待しておるわけでございます、早く備中、川上地域へも敷設できればということでございまして、御存じのように電波を流すことと、それからまた机上での約 15 億円、これの財源手当てをしなきゃいかんということで、その両方を加味して敷設に前向きにやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それからまた、なりわビジョンについてでございますが、これは最後言われておりますが、吉備**ケーブルテレビ**さんとの関係があります。なりわビジョンについては私もスタートから関与いたしました。その目的が行政の情報を流すんだということを前提にいたしておりまして、それが吉備さんとは大きく違います。吉備さんのは多数のチャンネル、いわゆるいろいろなテレビの放送がありますが、それをいかにたくさん皆さん方に提供するかということから入ってこられたと思います。片やなりわの方は行政の情報を流すんだ。したがって、緊急の場合も含めて火事があればテレビでもってどこで火事がある、あるいはまた冠婚葬祭も、あるいはまた誕生するとか、それからまた道路が急に交通遮断になったとか、災害があったとか、そういうことも 24 時間対応で流そうということで、行政のサービスをするということですから、当然言ってみれば今広報紙と同じような位置づけで、紙面上で流すか、テレビの画面、映像で流すかという差異だろうと私どもは考えました。

したがって、これには当然職員が携わる。広報紙もやっておりますように、広報紙をつくるのも市の職員がやっておりますけれども、同じようになりわビジョンを放映するに当たっては市の職員がやっていくというのは、私どもは当たり前だと思っておりますし、そう考えれば視聴料は無料でもいいんじゃないかということが言われまして、旧成羽町においてもかなりその点については無料化の要望はありました。行政の方で流すんなら、何もお金を取らなくてもいいではないかという声がありましたけれども、広報紙とは多少色合いが

違いますんで、やはり幾らかの費用負担、受益者負担は求めるべきだろうということでも、1,000円というのに落ちついたわけですが、そういう声もあっただけに目的がかなり違うということを御承知いただきたいと思っておりますし、それだけに職員の張りつけもいたしております。

そういう二つの流れがありますけれども、なりわビジョンもいろんな面で吉備ケーブルテレビさんをお願いしてる点があります。保守点検なんかはほとんどと言っていいほど吉備さんをお願いいたしておりますし、また最近もビデオテープの共有化、本日も録画されてるものをなりわビジョンと共有させていただいておりますし、そういう点で今後両者が非常に密接な関係になるように、将来的には統合すべきだと思いますけれども、これはすぐというわけにはいきませんで、いろいろクリアしなきゃいかん課題があります。そうした上で一本化に進むべきだと考えます。確かに情報の格差という点では格差があるわけですから、当初の目的は違ってても現在の同じ市民としての情報格差はない方がいいわけですから、その差は縮めるべきだろうと思って取り組ませていただきますんで、どうか御理解をいただきたいと思っております。

【 平成17年第2回 6月定例会-06月17日 - 02号 】

それから次に、**通信網の件でございますが、備中地区、それから川上地区にはCATV網が張り巡らしておりません。これにつきましては、新高梁市の誕生とともに設置に向けての方向を私どもは出してございまして、備中、川上、費用にして机上で約15億円かかると、こういうことでございます。これにつきましては、広島に総務省の中国総合通信局っていうのがありますが、昔のいわゆる電管というところですが、そちらと協議に入っておりません。これはいわゆる放送するという内容の許可が要るところでございまして、これがなくてはスタートできませんので、こちらと電波を使っていい協議を現在いたしております。**この形によって、現在の吉備ケーブルさんでやっておられる方法、また成羽ビジョンで公的にやってる方法、どちらがいいかっていうことも協議すべきだと思っておりますし、それとあわせて、そのいずれにするかによって当然今度は財源の方が変わってきますし、また、目的も変わってきます。

質問にありました、だんだん人がいなくなってくると、これから建設するにしても5年以上かかると思います。じゃあ、できたときは人がいないじゃないかと、こう言われるんですけども、そういうことはこれはあり得ると思えます。けれども、私としては、情報というのはこういう中心から離れておる人こそ情報がより必要だろうと思っておりますんで、そういう点ではその集落に人が少なくなっても情報は提供すべきだと思っております。その辺が皆さん方と協議のところですけど、**公的な情報を一生懸命流すのがいいのが、あるいは何十チャンネルとある民間の衛星放送等、そういうものが十分見られるようにという方向を求めるのが、そのいずれの方向かによって基本的なスタンスが違ってきますんで、それによって、このCATVの設置、備中、川上地区の設置は方向を決めさせて**

いただきたいと思っております。今研究に入っておりますし、また打ち合わせを総務省といたしておりますので、その方向ができ次第、私どもはより具体的なことに踏み込んでいきたいと思っておりますので、これにつきましては、また皆さん方の御意見を賜りたいと思っております。

同じ市民として本日もこのような議会が備中、川上の人にはビデオしか見れないという状況でございます。高梁、有漢、成羽、この地域の人は見れますので、それが見れない地域があるとすりゃあ困ったことですし、行政としての責任を問われますので、もう早いうちに同じようにCATVの設置は実現に向けて努力していきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

【 平成17年第2回 6月定例会-06月14日 - 01号 】

また、情報に関しましては、特に川上町、備中町地内の**有線テレビ**の早急なる設置の要望がかなりあります。私どももこの件につきましては、質問もいただいておりますし、早急に取り組むべきだということで、検討に入っておりますのでございます。

また、旧高梁市にあります市民センターのあり方についてもかなりの要望がございました。このあり方につきましては、市民センターの皆さん方と今後私どもも話し合いをさせていただけたらと、こう思っております。

【 平成17年第7回12月定例会-12月08日 - 02号 】

市長（秋岡毅君） まず、**CATVの件の検討会ですけれど、まず内部においてというのは、市役所内部においてお示しできる資料づくりをすべきだということ、今ワーキンググループというんですか、作業をやっておるとい段階であります。案ができましたら、それを皆さん方にお示ししようと思っております。また、当該の備中地域局、川上地域局、両地域局に案内して、その地域の町内委員さん、あるいは考えられるのはコミュニティの皆さん方、その皆さん方にも当然説明をさせていただいて、御理解をいただくと同時にまた要望も聞かせていただけたらと、そう考えております。**まず最初は、私どもとしては、こういう案でいきたいという、この件についてはそのように思っておりますので。

これは、作業としては当然備中地域、川上地域に線を張りめぐらすと、これが一番でございます。次には、内容をどうするかという、その辺が実は皆さん方がどういうニーズがあるんだろうかと。先ほど緊急の場合の伝達方法等を言われましたけれど、そういうものがどの程度要るんだろうか、あるいはまたトマト、ピオーネの産地ですから、気象情報が要るんだろうか要らないのだろうか、そういうことは皆さん方の声も聞きたいなと思っております。**その前段でいろいろな場面を想定したCATV設置の立案書というんですか、そういうものをつくりたいと思っておりますのでございます。これは避けて通れないんですから、しなきゃいかん事業ですから進めていきたいと思っております。**

【 平成18年第1回 3月定例会-03月09日 - 02号】

これを受けて、それではどうするかということでございますが、平成18年度、市としては高梁市内のうちまだCATVの線を張りめぐらしていないと、そういう地域があります。中井、巨瀬、川面、高倉、玉川と、この一部の地域にまだあるわけございまして、このケーブルの線を張るということを平成18年度に完了する予定でございます。それを受けて、その後平成19年度から成羽ビジョンのデジタル化と川上町、備中町のCATVの設置を考えたいと思っております、平成19年度から始まるといってしましても、これ実施設計から始めなきゃいけません。そういうことから、平成19年にスタートして平成19年、平成20年、平成21年、平成22年に完了すれば、平成22年のアナログ放送の終了に間に合うと、こう考えております。備中、川上、特にこの2つの地域においてはかなり高額な財政が伴いますので、財政状況を見ながら、考えながらやらせていただこうと思っております、予定としては今言いました平成22年に完結するようにと。したがって、高梁全域がCATVのネットが張れると、このように思っております。

【 平成18年第2回 6月定例会-06月12日 - 01号】

また、それ以外には、市営住宅の建設の問題であるとか、結婚促進の問題であるとか、また高梁の整備地区に当たります備中川上地区におけますケーブルテレビの設置の問題等について皆様方、特に町内委員の皆さん方から市政懇談会において数多く意見が寄せられたところでございます。

また、5月1日から6月2日においては、5会場まちづくり協議会の委員の皆さん方との懇談をさせていただきました。まちづくり協議会におかれましても市政のあり方に大局的な立場から意見を申されることが多々見られまして、私どもとしては非常に歓迎すべきだろうと、こう思っております。いろんな交流事業、イベント等、また地域の伝統文化を守っていくということも必要でございますが、それとあわせて市政のあり方につきましても、いろんな点から御意見を賜る機会が持てたということについては、このまちづくり協議会のあり方もこれからより充実してくるものだと、こう期待をさせていただいたような次第でございます。本年度から私どもも皆さん方の意見を聞いた上で、プランに沿って実行していくという年になっております。実行のスタートになった本年度でございます。

現在、私どもが取り組んでおります委員会等が7つございますが、その1つが男女共同参画審議会、2番目に新高梁中央図書館建設にかかわる委員会、3番目が高梁市国民健康保険成羽病院改築検討委員会、4番目に生活交通体系検討会議、また先ほど言いましたが、私どもは高梁西地区と位置づけておりますが、備中川上地区におけるケーブルテレビの推進検討会、また備中高梁駅周辺の整備検討委員会であるとか、7番目に少子化対策検討委員会という委員会を現在立ち上げて、鋭意検討をさせていただいております。

以上が予算編成に向けてでございますが、その中でまた次の具体的なことでCATVの件を御質問されました。平成23年7月24日にアナログがなくなってデジタルになるということでございます。それを踏まえて、どうなるんだろうかという不安な市民の方も大勢いらっしゃいますし、とりわけ備中地域、川上地域の方は一体見えるんだろうか、こういう不安の声を聞いております。私どもとしては、できる限り努力しまして平成23年7月24日までにこの事業が完結できますようにということで最大限に努力させていただこうと、きょう現在はそういう言葉でしか表現できませんけれども、平成23年7月24日までに完結できればという希望を持って取り組ませていただこうと、このように考えておるわけでございます。具体的には平成19年度、先ほどの予算ですが、まだ確定してるとは言いませんが、でき得ればそのスタート台に立つ、予算の中身はまだわかりませんが、予算に向けての具体的な数字を上げさせていただければと、こう希望いたしておるわけでございます。これはまだ今言いました編成会議も開いておりませんし、私も直接担当の方から内容も聞いておりませんが、私としては平成19年度から具体的にやる意志が見えるように、数字でもってお示しできればと、このように考えて平成19年度からスタート台に立ちたいと、このようにお願いいたしております。

また、現在私の聞いている範囲では、川上、備中地域のCATVの整備については農水省の事業の補助金制度がございますので、その補助金制度を利用すべきだろうと思っておりますし、また合併特例債についても、そういう内容を当然考えた上で事業ができれば財政的には非常に楽になるかなと、このように考えております。これを実施するに当たっては、言いました財政の問題が1つはございますし、また1つは市民の皆さん方の加入率の問題がございます、どの程度加入いただけるか、まだこの数字は私どもも把握いたしておりますが、ある程度の加入率がないと、これは設置するというのも難しいわけですが、設置するとすれば大勢の方の加入を希望するわけでございます。

また、片やどういう内容をこのCATV網を使って放送するのかということが、これは問われると思います。これはまた説明会を開かせていただいて、市民の皆さん方のどういうニーズがあるのかということは十分お聞きする必要があるかと思っております。今言いました農水省の補助金でやるとすれば、井上議員さん成羽ビジョンを御存じのように、農事放送と天気予報、これは当然流さざるを得ないと、否が応でもこれはやらなきゃいけません。スタート台が、これ自治体でやるものですから、当然広報はこれに織り込むということは必須条件だろうと、このように考えております。当面私どもは高梁市内においての情報格差の解消ということに、ここに視点を置いて川上地域、備中地域、また成羽ビジョンのデジタル化も含めて、この情報格差の解消に努めていきたいと、このように思っております。当面は今の民間でされてる旧高梁市内、また有漢地域と、このスタート台が違い、やり方が違いますので、その点については当面西地区というんですか、高梁市西地区

の情報格差の解消に努めさせていただき、その後私どもは情報が一体化することに努力をしていこうと、このような段取りで考えさせていただいてるということでございますので、御理解をいただきたいと思います。また川上地域の皆さん方や備中地域の皆さん方、それからまた成羽ビジョンを見ておられる皆さん方に対しまして、このありようについてはまたの機会に説明を申し上げさせていただいて、どういう情報の提供ができるのか、そんなことは皆さん方のニーズとともに構築していきたいと思っておりますので、御理解をいただきたいと思います。